

## 羅臼湖の利用ルール（案）

### 1. 長靴の着用を

羅臼湖歩道は湖や沼を通過するルートであり、歩道上にはぬかるみが多く点在します。これを避けて歩くと植生を傷め歩道の拡幅につながってしまいます。

○長靴などを着用し、歩道中央を歩くようにしてください。

### 2. 植物や動物を大切に

羅臼湖周辺は湿原植生が成立しており、人の踏み荒らしが重大な影響を与えます。また、希少な動植物が生息しており、知床国立公園でも特に規制の厳しい地域が含まれています。

○植物を踏んだり傷つけたりしないでください。ストックはできるだけ使用せず、使用する場合は必ず先端にキャップを付けて下さい。

○動物を捕まえる、エサを与える、近づく、拡声器などにより大きな音を出すなどといった行為は、重大な影響を与えますので、行わないでください。

○1グループの人数は10人程度にとどめてください。団体の場合はグループに分け、20分以上の間隔を空けるなど、同じ場所に大勢が集まらないよう配慮してください。

○外来種の持ち込みを防ぐため、靴裏に付着した種子は除去するよう努めてください。

○ルートにトイレはありません。携帯トイレを使用するか、事前にトイレを済ませてください。

### 3. ヒグマ対策や自己の安全管理を万全に

羅臼湖に向かうルートは一般の遊歩道とは異なり、登山同様の装備と経験が必要です。また、ヒグマの生息地であり常に遭遇する可能性があります。

○声を出す、鈴の使用するなどにより、ヒグマとの遭遇を避けるようにしてください。

ビジターセンターなどでの事前の情報収集やクマスプレーの携帯を推奨します。

○飲食物の持ち込みは必要最低限にとどめ、ゴミは持ち帰りましょう。ペットは連れて歩かないでください。

○雨具や防寒具などを持参してください。また、入林簿への記載をお願いします。

○ヒグマの出没や歩道の破損などの情報は、ビジターセンターなどにお寄せください。

### 4. 歩道入口に駐車しない

歩道入口付近に駐車場はありません。入口付近に車両を駐車させると、多くの方に迷惑がかかる上、交通安全上の危険があります。

○入口付近に駐車はしないでください。知床峠から徒歩でアクセスするか、路線バスやハイヤーなどを利用してください。

※ガイドツアーに参加することで、より安全に羅臼湖を利用し、羅臼湖の素晴らしさより良く理解することができます。そのため、ガイドツアーの利用を推奨します。